

令和5年3月31日

あなたが支える市民活動応援事業実績報告書

大分市長職務代理者
大分市副市長 久渡 晃 殿

所在地 大分市高江南3-25-7
団体名 はんだ音楽まつり実行委員会
代表者氏名 重光和夫
電話番号 080-5250-3669
担当者 [REDACTED]
担当者連絡先 [REDACTED]

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第13条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- | | |
|----------------|-----------|
| 1. 交付決定年月日 | 令和4年9月1日 |
| 交付決定番号 | 協働第873号 |
| 2. 事業名 | はんだ音楽まつり |
| 3. 補助金の交付決定通知額 | 300,000 円 |
| 4. 補助金の概算交付額 | 300,000 円 |
| 5. 補助金の精算額 | 300,000 円 |
| 6. 事業の成果 | |

令和4年10月23日(日)に、第15回はんだ音楽まつりを行った。約1,800名の来場者があった。21組の大分市内外からの出演者が、演奏・演舞を行った。準備や後片づけ、音楽や紙パック灯籠づくり等の開催イベントを通じ、地域の交流促進や青少年の健全な育成に寄与した。

7. 添付書類
- (1) あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書
 - (2) あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書
 - (3) 活動目標に関する報告書
 - (4) その他市長が必要と認める書類

(この内容は、大分市のホームページ等で公表いたします。)



あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書

団体名	はんだ音楽まつり実行委員会			
事業名	はんだ音楽まつり			
主な活動地域	<p>※ 該当する□にチェックしてください。【】の中は校区となっています。</p> <p><input type="checkbox"/> 大分中央【金池、荷揚、長浜、中島、住吉】</p> <p><input type="checkbox"/> 大分西部【春日、大道、西の台、八幡】</p> <p><input type="checkbox"/> 南大分【豊府、南大分、城南、荏隈】</p> <p><input type="checkbox"/> 滝尾【滝尾】</p> <p><input type="checkbox"/> 城東・原川【津留、東大分、日岡、桃園】</p> <p><input type="checkbox"/> 明野【明野】</p> <p><input type="checkbox"/> 鶴崎【鶴崎、三佐、別保、明治、高田、松岡、川添】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 大南【戸次、判田、竹中、吉野】</p> <p><input type="checkbox"/> 植田【植田、宗方、横瀬、東植田、寒田、敷戸、駕野、賀来】</p> <p><input type="checkbox"/> 大在【大在西、大在】</p> <p><input type="checkbox"/> 坂ノ市【坂ノ市、小佐井、丹生】</p> <p><input type="checkbox"/> 佐賀関【本神崎、木佐上、大志生木、佐賀関、一尺屋】</p> <p><input type="checkbox"/> 野津原【東部、中部、西部、今市】</p> <p><input type="checkbox"/> 市内全域</p>			
実施時期 実施場所 実施内容 (目的・経過等) ※別紙添付可	時期 (月)	実施場所	受益 対象者数	実施内容 ※目的・経過等をできるだけ詳細に
	10月	高江中央公園	1800人	<p>【目的】</p> <p>子どもから大人まで参加できる音楽まつりを通じ、地域の振興、融和、青少年の健全な育成に寄与する</p> <p>【経過】</p> <p>4月16日 第1回実行委員会</p> <p>5月22日 第2回実行委員会</p> <p>5月29日 第3回実行委員会</p> <p>6月16日 ローラー作戦</p> <p>6月17日 第4回実行委員会</p> <p>8月21日 出演者・出店者説明会</p> <p>8月28日 第5回実行委員会</p> <p>9月4日 第6回実行委員会</p> <p>9月15日 第7回実行委員会</p> <p>9月25日 第8回実行委員会</p> <p>10月8日 ノボリ設置</p> <p>10月16日 第9回実行委員会</p> <p>10月22日 前日準備</p> <p>10月23日 音楽まつり当日</p> <p>10月24日 片付け</p> <p>10月30日 第10回実行委員会</p>

<p>使用した 広報手段と その効果</p>	<p>使用した広報手段（チラシ・ポスターの作成、ホームページ、パンフレットの作成等） チラシ、パンフレットの作成、HPでの広報、のぼりの設置、ケーブルテレビでの紹介、FM放送での紹介、地域（判田校区）への全世帯回覧板による案内、判田小中学校へのチラシ配布、会場と近隣のスーパー・コンビニ等にポスターを設置した。</p> <p>今年度行った広報の効果</p> <p>例年以上に、多くの来場者に恵まれた。広報内容に特段の変化はなかったことから、来場者数の上昇に関しては、3年ぶりの開催と開催時期の変更が大きく関与したものと思われる。また、例年の広報の効果は十分あることが示された。関係各所との調整が必要であるが、今年と同時期の開催をめざしたい。</p>
<p>事業の成果</p>	<p>地域への効果について（事業を実施した結果、対象地域にどのような効果があらわれたのかを、できるだけ詳細に記入してください。）</p> <p>地域の子供たちに発表&交流の場を提供できた。地域の身近にある場所、域内で最も大きな公園にあり他に類を見ないほどの素敵なステージでの開催により、ふるさと意識の醸成や友人らとの思い出作りによる健全な精神の育成に貢献した。また、世代を超えた地域住民の交流の場として、交流促進の場を提供できた。今回も昨年同様に、会場準備に、地元小中学校PTAのみならず、地元老人クラブの協力をいただき、昨年以上に、地域のいろんな方々が協力し合いながら実施するイベントになった。</p> <p>市民への効果について（市民にとってどのような効果があったか、市民福祉の向上にどうつながったのかを、できるだけ詳細に記入してください。）</p> <p>今回で15回目を迎えた「はんだ音楽まつり」は、音楽関連イベントとしては、比較的知名度のある音楽イベントとして定着しており、これまでの出演者のなかには、現在プロとして活躍している者もいる。また、域内老若男女のハレの舞台として、地域の子供たちの日ごろの成果の発表の場、成長の一こまを演出する場、域内のおとなたちの発表の場となっている。さらには、紙飛行機飛ばし大会や牛乳パック灯籠作り、浴衣による来場を促すなど、全ての年代の来場者が楽しめるイベントを積極的に行うことで、より一層地域から愛されるイベントとなった。</p>
<p>来年度に 向けた課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○実行委員の拡充による組織体制の強化 ○大口スポンサーの獲得による事業の安定と充実 ○事業の陳腐化を防ぐための事業内容の見直しと変革 ○事業内容の効率化 ○20周年に向けた財務体質の強化 ○日中の暑さ・日差し対策のさらなる充実 ○10月開催に向けた各機関との調整

あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書

事業の名称： はんだ音楽まつり

1 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
補助金収入	300,000	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入		
事業収入	80,000	出店料
寄附金収入	634,478	協賛金
その他		
合 計	1,014,478	

2 【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
報償費		
旅費		
消耗品費	134,043	文具、ブルーシート (対象外 24,631)
燃料費		
食糧費		
印刷製本費	124,850	チラシ、ポスター、ノボリ
通信運搬費		
広告料		
保険料	73,475	
手数料・委託費	485,210	各種デザイン、音響・照明、会場警備、ごみ処分 (対象外 385,000)
使用料・賃借料	196,900	テント、机、イス
原材料費		
備品購入費		
合 計	1,014,478	補助対象経費 604,847 円

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

活動目標報告書

1 自己収益（※）拡大に向けて

(1) 現在の自己収益金の総額

700,000円

(2) 目標とする自己収益金の総額

714,478円

(3) 自己収益拡大に向けた具体的な取り組み

(目標を達成できなかった場合は、その理由と改善策)

企業協賛金が主たる収益金であるが、実行委員会メンバーの高齢化とマンパワー不足を補うための組織改編のさなか、協賛企業を募集は、大きな負担となっているが、コロナ禍で多くの協賛企業が去って行く中、前年同等の協賛金を集めることができているのは、メンバーの多大な努力の賜物である。音楽まつりの価値を高めることで大口スポンサーの新規獲得により、前回同等もしくはそれ以上の自己収益金額を目指す。

記入例：①会員加入の呼び掛けを行った結果、入会者の獲得に成功し、会費収入を増加させることができた。

②協賛企業の呼び掛けをこれまで以上に実施してきたが、景気の流れに左右されることもあり、新規開拓はできなかった。

③来年度も企業への呼び掛けを継続し、企業協賛金の拡大に努めていきたい。

など

2 受益対象者を増加させるための取り組み

(4) 現在の受益者数

1,800人

(5) 目標とする受益対象者数

1,600人

(6) 受益対象者増に向けた具体的な取り組み

(目標を達成できなかった場合は、その理由と改善策)

3年ぶりの開催とやむを得ない開催時期の変更により、受益対象者数の目標を達成できた。

開催時期をこれまでの9月から10月に変更することで、今回同等の受益者数を確保したい。広報については、今回目標達成できたことで、従来の方法でも十分効果的があることが証明された。